

MONTHLY

コロンブス

ビジネスの新大陸を発見!!

6

2023
JUNE
770円

岸田政権の
「スタートアップ育成5か年計画」が
はじまった!!

1兆円規模の
スタートアップ関連予算で、
戦後の創業期に次ぐ
第二の創業ブームを実現!?

地域の成長エンジン

「スタートアップ」で 産業栽培!!

90年代以降日本の開業率は5割、
スタートアップランキング世界第23位
「ココイチ(壺番屋)」、「サカイ引越センター」の
スタートアップ力を学べ!!

特選銘柄

信用金庫が仕掛ける
「ハンズオン」戦略で
スタートアップ!!

松下寿夫
阪能信用金庫 理事長

進化する農林水産政策

産出額が783億円に減少した日本茶を
いかに再生するか!?

皿谷俊祐・農林水産省 農産局 果樹・茶グループ 課長補佐(茶葉班担当)

アサヒ物産(株)

大鼓判
押します!!



(公財)ひょうご産業活性化センター
ひょうご海外ビジネスセンター
次長
小木曾弘康さん

同社は「無限の可能性にチャレンジ」を社是に、飲料の卸売から菓子の製造販売まで幅広い事業を営んでいます。菓子では、サクサクの皮が特徴のクロワッサン鯛焼きを製造していますが、コロナ禍にあって、当センターの助成金を活用して台湾への販路開拓に挑戦し、成果を上げました。現在は台湾以外の地域への販売も検討されており、当センターでも継続的にサポートしています。あらたなチャレンジに期待しています。

現在フル稼働中の岡山工場。2019年に事業買収によって和洋菓子生産に着手した



岡山工場内の焼成室を通る商品は1日約3万個



挑戦と情熱が人を育てるという大西社長。目指すは「唯一無二」の食品メーカーであり、食品商社だ

コンビニ販路急拡大で新工場建設

長期賞味期限のスイーツを製造 自販機管理から食品メーカーへ

あらたにスイーツ製造を開始し、食品メーカーとして台頭しはじめたアサヒ物産(株)。自販機管理から食品メーカーへ、2019年からは事業買収によって和洋菓子の製造販売をスタート。現在は主力商品「クロワッサン鯛焼き」がコンビニエンスストアで爆発的な人気を集めており、既存の岡山工場(岡山県井原市木之子町)をフル稼働しても生産が追いつかず、新工場を建設することもきまっています。

売。まだ知名度は低いですが、今後通販サイトのテコ入れをはかるといいます。

この人気を背景とした新工場の建設予定地は、現工場に近い岡山県矢掛町江良。すでに同町との立地協定は締結済みで、約2億円を投じて町土地開発公社から敷地も購入。24年3月の着工、翌25年6月に操業予定となっており、敷地面積は9900平方メートル、鉄骨2階建て延べ床面積2640平方メートルの工場を整備するそうだ。大西社長は「すでに現在の工場稼働率は満杯なので、あらたな設備投資で対応せざるを得なかった」とうれしい悲鳴を上げる。なお、岡山工場の1日当たりの生産能力(約3万個)に対し、新工場は倍の6万個。食品衛生の国際基準であるHACCP(ハサップ)の認証取得も目指すという。

一方、創業時からの自販機事業では現在、地元・兵庫の播磨地域を中心に約800台を管理。アサヒ飲料やキリンバレッジなど大手飲料メーカーと特約契約を結んで商品を扱ってきたが、「電子マネーの普及などで自販機は苦戦している」と大西社長は明かす。自販機事業からの撤退は「考えていないが、オペレーションの方法を改善するなどして、生産性を高めていきたい」としている。

そんな大西社長が目指すのは「唯一無二の食品メーカー」であり、「食品商社」だということ。その言葉通り、18年から経済産業省の「健康経営優良法人」に6年連続で認定されているほか、21年からは3年連続で中小規模法人部門の上位「ブライト500」にもなっている。

また、同社は健康食品分野にも注力しており、今年2月には通販サイトを立ち上げ、糖の吸収を抑え、食後血糖値の上昇を穏やかにする機能性表示食品「食事とサラシア」を販

示食品「食事とサラシア」を販

示食品「食事とサラシア」を販

示食品「食事とサラシア」を販



コンビニで人気急上昇の主力商品「クロワッサン鯛焼き」

社長の自社採点

- 企画開発 = ☆☆☆
- 営業力 = ☆☆☆
- 成長力 = ☆☆☆
- 収益力 = ☆☆☆
- 地域貢献力 = ☆☆☆

- 人材力 = ☆☆☆
- 専門性 = ☆☆☆
- リサーチ力 = ☆☆☆
- 計画性 = ☆☆☆
- リスクマネジメント = ☆☆☆

HPはこちら!!

兵庫県加古川市西神吉町岸134-3
☎079-431-9669
設立 1996年
従業員 約130名
資本金 2800万円